

都市再生整備計画(第5回変更)

みうらかいがんえきしゅうへん
三浦海岸駅周辺地区

かながわけん みうらし
神奈川県 三浦市

平成21年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	三浦市	地区名	三浦海岸駅周辺地区	面積	237 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

目標	
大目標:安全で快適なにぎわいのあるまちづくり	
目標1	新たな観光資源の開発により、年間を通してまちのにぎわいを取り戻す
目標2	住環境の快適性の向上
目標3	安全で災害に強いまちづくり

目標設定の根拠	
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> 三浦海岸駅周辺は、横浜や東京への通勤者も多く住んでおり、駅前や幹線道路沿いに集積した商業業務地の後背地に住宅地が形成されている。 海水浴を中心として、三崎下町地区と連携した三浦市の観光の玄関口となっているが、昭和40年代以降観光客数が激減し、まちのにぎわいに影響を与えている。 当地区においては、地元経済団体が主体となる「三浦海岸まちなみ事業協議会」が平成9年5月に設立され「自然海岸を生かした景観形成と商店街活性化を目指した、住民主体、個性豊かなまちづくり計画の作成と実現」をテーマに「わいわい市」や「桜のまつり」などのイベントを通して通年型の観光地を目指し地元を盛り上げる活動を続けてきている。 当地区内にある公園は、市民協働のもと環境整備に対する活動を実施している。その中で、小松ヶ池公園は、自然水面を有する良好な自然環境の景観を生かした公園であり、バードウォッチングや自然を体感できる公園として、首都圏からも短時間にアクセスできる地の利を有している。 道路などの基盤整備水準が低いため交通安全などの問題が大きい。 地区内の通学路について、道路整備の水準が低く、また将来三浦縦貫道路の供用にあたり、周辺の交通環境の変化が予想される。 街の整備が昭和40年代の鉄道延伸時に進められ、時代の変遷と共に施設の老朽化が進んでいる。 地区の中心部には、本市唯一の鉄道である京浜急行線があり、三浦半島南部及び西部の重要な交通手段となっている。 	
課題	
<ul style="list-style-type: none"> 時代の変遷により観光客数が減少し、それに伴う観光関連産業の衰退が著しく、当地区の中心市街地の活性化が喫緊の課題となっている。 公園は、市民のいこいの場としてのニーズが高く環境整備が求められている。また、小松ヶ池公園は、訪れる市民や観光客から公園施設の利便性の向上が求められている。 交通安全面等の問題が多いので、住民が安心して暮らせる生活空間や来遊者が回遊しやすい観光拠点として、交通安全性や歩行者の快適性の向上等の交通環境改善が必要である。また、市民や観光客が、駅から海岸方向や小松ヶ池公園へ快適にアクセスできるようなまちづくりが必要である。 通学路周辺の現状と予想される交通環境の変化などにより、歩道設置による学童の安全確保対策が必要となっている。 老朽化が進んでいる、街の公共施設について、防災上の脆弱性が懸念される。特に京浜急行線軌道上にある市道4号線跨線橋および山ヶ谷戸跨線橋は、緊急車両の通行等地区の防災上重要な役割を担うものであるが老朽化している。防災上や大量輸送手段の確保の観点から、その耐震補強が必要である。 	
将来ビジョン(中長期)	
<ul style="list-style-type: none"> 三浦市総合計画では、「人・まち・自然」の3大資源を相互に活かしたまちづくりを目指している。その中で、当地区は、三浦海岸交流核として位置付けられており、市民や企業、観光客等が交流する拠点や交通ネットワークの結節点の役割を担い、新しいビジネスが営みが続いていくうえで必要な支援や都市型の住まいなどの充実を図る地区とされている。 三浦市都市計画マスタープランでは、商業業務地と農地との緩衝機能を残しつつ、観光にも対応する市街地整備とともに、公園・道路等の整備方針が掲げられている。 	

目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
イベント入り込み数	人/年	三浦海岸まちなみ事業協議会主催のイベントの年間利用者数	にぎわい復活を目標として、観光客数の2000人増加を目指す	173,000人	平成16年度	175,000人	平成21年度
歩道の段差解消率	%	三浦海岸駅から小松ヶ池公園までの歩道の段差解消率	歩行者の安全性を確保し快適な交通環境を整備するため、段差解消された歩道延長の割合の増加を目指す	28	平成16年度	90	平成21年度
災害時の避難所までの所要時間	分	避難所までの歩行による所要時間(上宮田第7地区～上宮田小学校)	安全性向上の目標として避難経路の最短ルート確保した場合の所要時間比較による事業効果	34	平成16年度	12	平成21年度
歩道の設置延長	m	区域内の歩道設置延長	歩行者の安全性を確保し快適な交通環境を整備するため、歩道延長の増加を目指す	12,990m	平成17年度	13,835m	平成21年度
災害時の避難地までの所要時間	分	避難地の分散化による避難地までの距離の短縮(三崎高校→三浦スポーツ公園)	防災上の避難地確保	50	平成17年度	33	平成21年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(新たな観光資源の開発により、年間を通して街のにぎわいを取り戻す)</p> <ul style="list-style-type: none"> 三浦市の観光の玄関口として、安全性・利便性の向上を図るため、三浦海岸駅から小松ヶ池公園へのアクセス道路の整備や三浦海岸駅周辺道路及び海岸へのアクセス道路の整備を行い、安全で快適に回遊できる歩行空間を形成する。 市民や観光客が快適に利用できるように、小松ヶ池公園及び三浦スポーツ公園の園路やトイレ等の公園施設整備を行い、公園の利便性の向上を図る。 跨線橋の改修に併せて、橋の塗装と、デザイン高欄を設置し景観に配慮する。 案内表示板の設置により、来遊客の移動の利便性の向上を図る。 観光客誘導と市民との交流のため、地元の経済団体「三浦海岸まちなみ事業協議会」が新たに取り組む「(仮称)三浦海岸感謝祭」や「地産地消拡大事業」への支援を行う。また、三浦国際市民マラソンの来場者と地域を結ぶ地域振興プログラムとして、アトラクションの増加や出店を集い地域特産品のPRを拡大することへの支援を行いにぎわいのあるまちを目指す。 	<p>道路(基幹事業/市道87号線、市道310-2、310-3号線、市道4号線跨線橋、山ヶ谷戸跨線橋)、公園(基幹事業/小松ヶ池公園、三浦スポーツ公園)、地域生活基盤施設(基幹事業/市道310-3号線外)、高質空間形成施設(基幹事業/市道88号線)、地域活性化事業(提案事業/(仮称)三浦海岸感謝祭、地産地消拡大事業等)、三浦国際市民マラソン事業(提案事業/地域振興プログラム)</p>
<p>整備方針2(住環境の快適性の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通環境改善のため、道路・交差点改良を行い交通の安全性の向上を図るとともに、歩車道分離や歩道の段差改善等を行い歩行者の快適性の向上を図る。 公園自主管理団体への支援を行い、市民協働を促進し、公園の環境整備を図るとともに歩道、植栽帯及び広場等へ植栽を行って環境の快適性の向上を図る。 交通バリアフリーの一環として、駅構内エレベーターを設置し、誰もが利用しやすい駅の形成を促進する。 公共下水道を整備し、住環境の改善、公衆衛生の向上及び浸水防除を図る。 	<p>道路(基幹事業/市道87号線、市道310-2、310-3号線、市道425号線、市道388号線、市道424号線、市道3・1960号線)、公園(基幹事業/小松ヶ池公園、三浦スポーツ公園)、高質空間形成施設(基幹事業/市道88号線)、公園自主管理団体補助(提案事業/公園除草清掃)、交通安全施設整備事業(関連事業、神奈川県)、民営鉄道駅舎垂直移動施設(関連事業、鉄道事業者)、下水道整備事業(提案事業)、花とみどりモデル事業(提案事業)</p>
<p>整備方針3(安全で災害に強いまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区の防災上の導線確保を図るため、跨線橋の耐震補強を行い、災害に強い都市基盤を整える。 防災行政無線難聴区域の解消による、地域防災能力の向上を図る。 避難所の機能確保のために安全性の向上を図る。 公園整備により避難地を確保する。(なお、三浦スポーツ公園については、地域防災計画の避難地として位置付けている。) 	<p>道路(基幹事業/市道4号線跨線橋、山ヶ谷戸跨線橋、市道425号線、市道388号線、市道424号線)、公園(基幹事業/三浦スポーツ公園)、防災行政無線事業(関連事業、三浦市)、小中学校地震防災対策事業(関連事業、三浦市)</p>
<p>その他</p> <p>○継続的なまちづくり活動</p> <p>当地区では、地元経済団体の「三浦海岸まちなみ事業協議会」が主体となり、市街地整備アドバイザー制度を活用して、協議会会員、市、専門家でまちの将来像やその実現方策について検討を重ねてきた。今後も具体化に向け検討・協議を続けていくが、協議会会員以外の一般市民も参加し、共に考え協議できる市民協働のまちづくりを行うため、フォーラム開催(協議会主催)等を考えている。</p> <p>○交付期間中の計画の管理について</p> <p>交付期間中において各種事業を円滑に進め、目標に向けて効果をあげるために、毎年、事業成果について市民に情報公開する。</p>	

三浦海岸駅周辺地区(神奈川県三浦市) 整備方針概要図

目標	大目標: 安全で快適なにぎわいのあるまちづくり	代表的な指標	イベント入り込み数 (人/年)	173000 (H16年度)	→	175000 (H21年度)
	目標1 新たな観光資源の開発により、年間を通してまちのにぎわいを取り戻す		歩道の段差解消率 (%)	28 (H16年度)	→	90 (H21年度)
	目標2 住環境の快適性の向上		避難所への歩行による所要時間 (分)	34 (H16年度)	→	12 (H21年度)
	目標3 安全で災害に強いまちづくり		歩道の設置延長 (m)	12,990 (H17年度)	→	13,835 (H21年度)
			避難地までの所要時間 (分)	50 (H17年度)	→	33 (H21年度)

